

2 - 5 東北大学における地殻変動連続観測（北阿武隈，男鹿における歪傾斜観測 - 1986年1月までの結果）

Continuous Observation of Crustal Deformation Operated by Tohoku University
(Results Obtained at KTA and OGA Observatories until January, 1986)

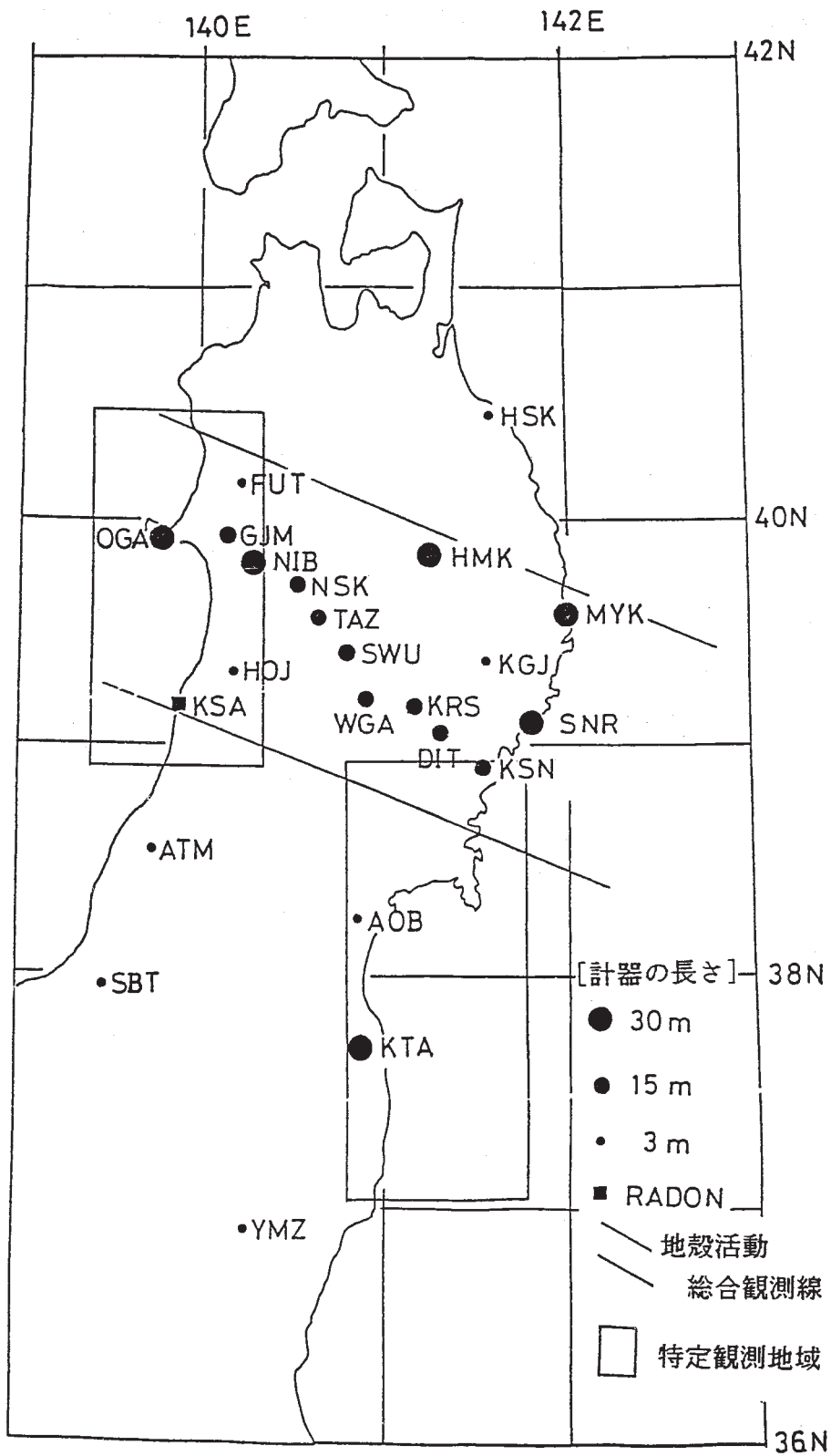
東北大学 理学部
Faculty of Science, Tohoku University

第2図は福島県北阿武隈観測点（K T A，第1図）において石英管伸縮計により観測された歪成分である。同図上には降水量，および観測点近傍に発生したM 6以上の地震の発生時が矢印で示されている。以下に示す図については，1986年1月までで前回の報告¹⁾に新たに3ヵ月間のデータが付け加えられている。第3図は水管傾斜計による観測から得られた傾動ベクトル図である。南西方向への経年的な傾動が続いている。

第4図は秋田県男鹿観測点（O G A，第1図）における1983年1月から1986年2月までの傾動ベクトル図である。第5，6，7図は各々'83年（日本海中部地震以後），'84年，'85年（'86年2月まで）の傾動ベクトルを抜き出したものである。これまで報告してきたように¹⁾日本海中部地震以後，北北西 - 南南東方向が卓越し経年的な変動はほとんど認められない。

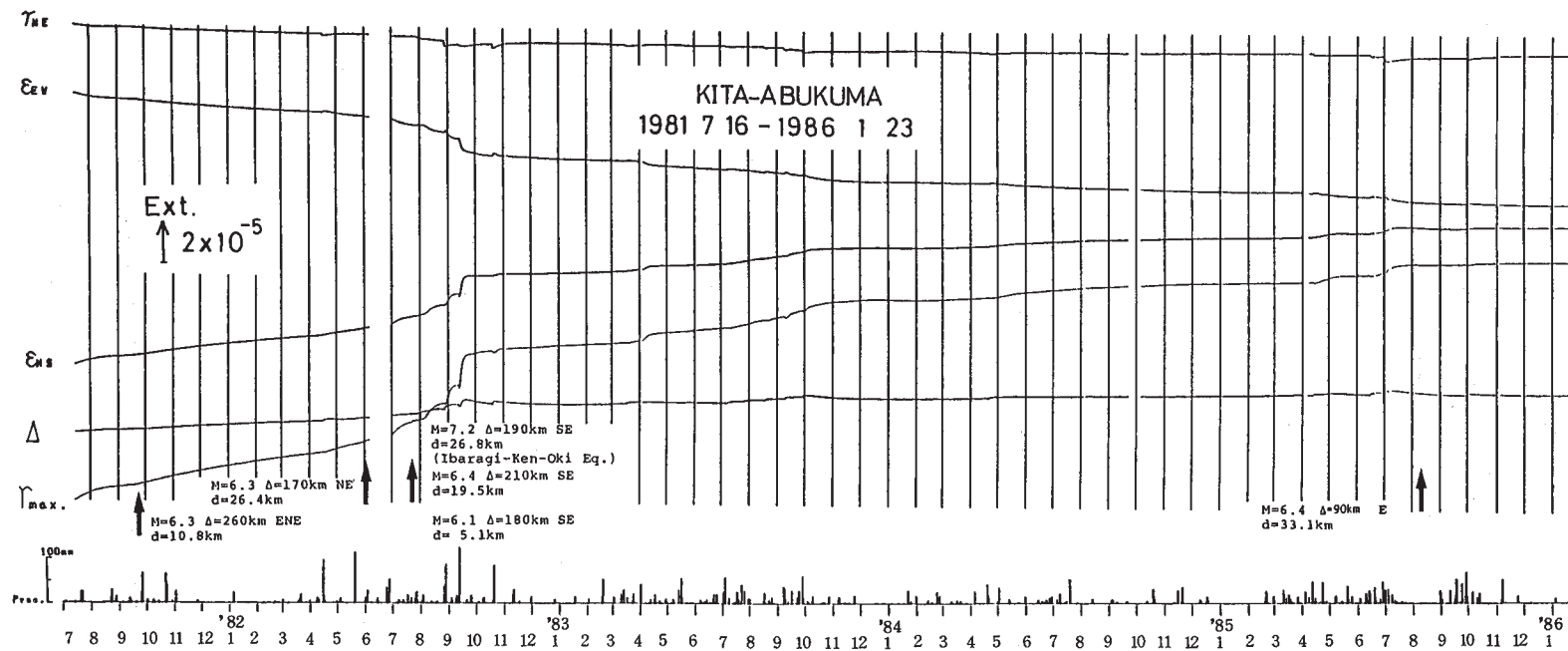
参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：東北大学における地殻変動連続観測（1985年10月までの北阿武隈と男鹿地殻変動観測所における結果），連絡会報，**35**（1986），70 - 72.



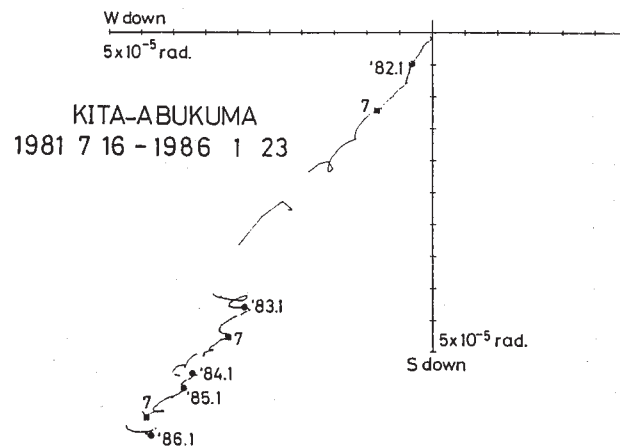
第1図 観測点配置

Fig. 1 Location of Observation stations.



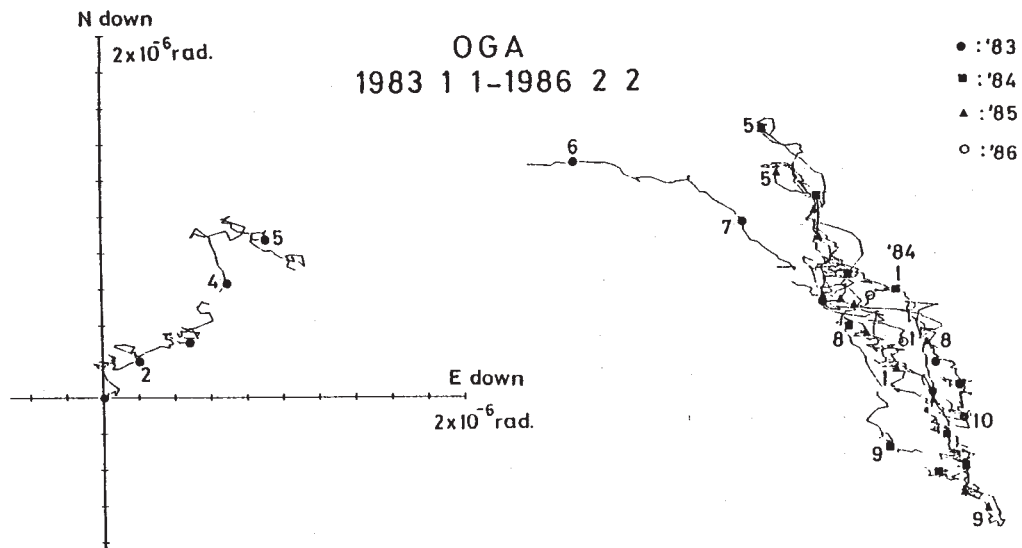
第2図 北阿武隈 (K T A) における伸縮計による歪変動 ('81年7月~'86年1月)

Fig. 2 Strain variation observed by extensometers at KTA (July, 1981 - January, 1986).



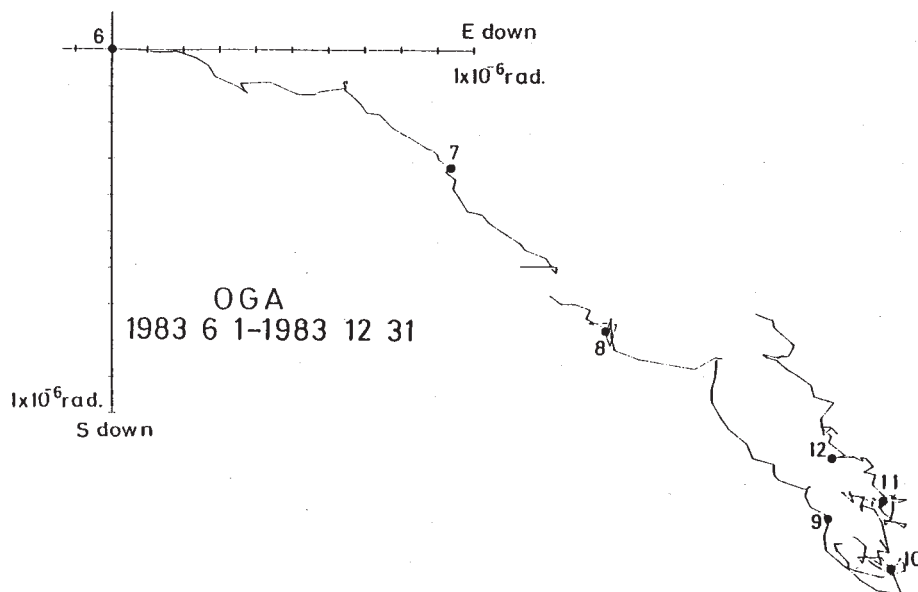
第3図 北阿武隈 (K T A) における水管傾斜計による傾斜変動 ('81年7月~'86年1月)

Fig. 3 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water-tube tiltmeter at KTA (July, 1981 - January, 1986).



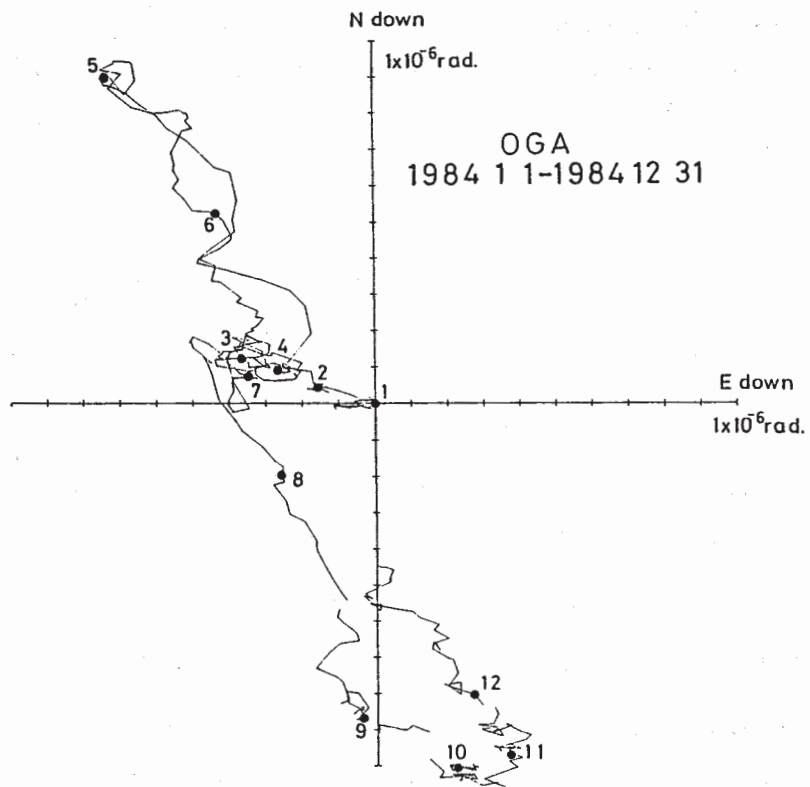
第4図 男鹿（OGA）における水管傾斜計による傾斜変動（'83年1月～'86年1月）

Fig. 4 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water-tube tiltmeter at OGA (January, 1983 - February, 1986).



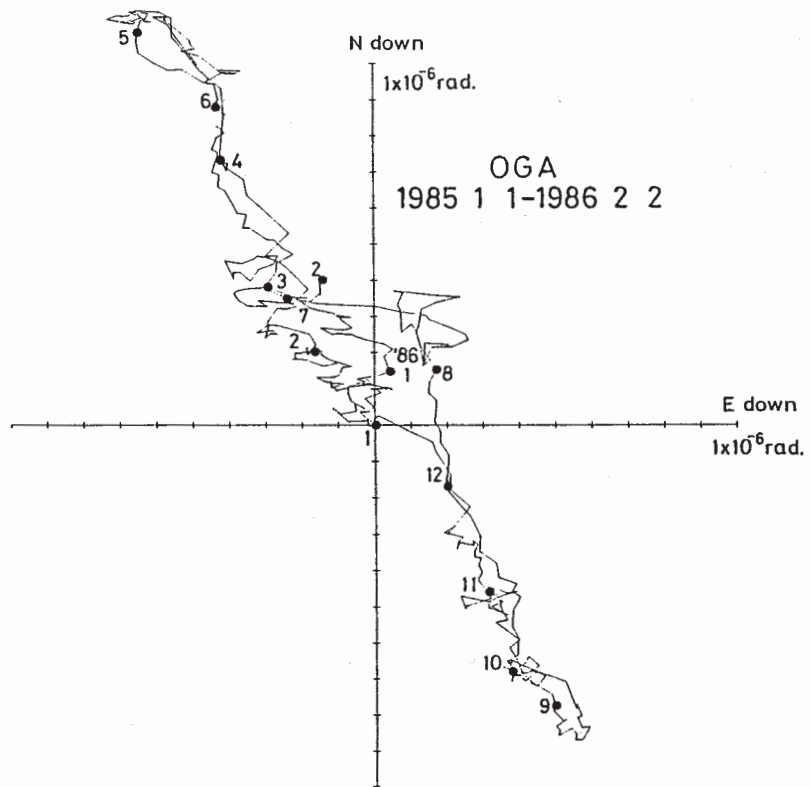
第5図 男鹿（OGA）における水管傾斜計による傾斜変動（'83年6月～'83年12月）

Fig. 5 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water-tube tiltmeter at OGA (June, 1983 - December, 1983).



第6図 男鹿（OGA）における水管傾斜計による傾斜変動（'84年1月～'84年12月）

Fig. 6 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water-tube tiltmeter at OGA (January, 1984 - December, 1984).



第7図 男鹿（OGA）における水管傾斜計による傾斜変動（'85年1月～'86年2月）

Fig. 7 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water-tube tiltmeter at OGA (January, 1985 - February, 1986).